



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和4年4月28日

【文責】校長 蔦川 誠

令和4年度は、 長者中の新たな歴史を 創るスタートライン！

今年度は新入生83名を迎え、全校生徒269名で令和4年度長者中学校をスタートさせました。今年度も新型コロナウイルス感染症によって教育活動の様々な制限は続いているものの、4月7日の始業式・入学式からは予定どおりの学校生活を展開することができています。そんな中で、先週の水曜日には保護者参観日を行うことができました。残念ながらPTA総会は中止となりましたが、授業参観・学年集会は実施することができました。年度始めにあたり、保護者の皆さんには、お子さんの学校での様子、学年・学級の経営方針などを御理解いただくことができたものと思います。今年度も、子どもたちの健やかな成長を目指して、保護者の皆さんや地域の皆さんと教職員が同じ方向を目指し、連携・協働することにより、よりよい教育活動を推進していきたいと考えています。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

昨年度、本校は創立60周年という節目の年を迎えることができました。今年度は更に一步進んで、長者中の新たな歴史を創り出すスタートラインの年です。全校一丸となって、協力しながら努めてまいりたいと思います。

さて、本校の長い歴史の中で昭和51年度に制定された校訓「探究・創造・協力」は、「生徒の三つの力（知・徳・体）が調和して実るように、広く・深く探究し、創造を目指して協力・実行する」という基本方針のもと設定されました。昨年度、校訓に込められた思いを基底に、新しい学習指導要領が目指すところを踏まえて、「教育目標」「努力目標」の見直しを図り、下記のように改訂しました。

教育目標

【教師：～を目指す】

- 確かな知性の育成（探究）
- 豊かな心や個性の伸長（創造）
- 調和的な心身の発達（協力）

努力目標

【教師：～の育成 生徒：～になろう】

- 自ら求め、考え、表現できる生徒
- 人の立場や意志を尊重できる生徒
- 心身ともに明るくたくましい生徒

長者中学校の1年間の様々な教育活動は、すべてこの教育目標と努力目標の達成に向けて行われます。

次に、今年度の学校目標を説明いたします。学校目標とは今年度達成に向けて取り組む具体的な目標です。昨年度までの成果と課題を基に決めていきます。令和4年度の学校目標は、昨年度に引き続いて、**「『学ぶ意義』を理解し、主体的に学び、協働する生徒」**としました。この学校目標の具現化のために、本校の教職員が生徒一人一人のよさや頑張りを受けて、夢や希望の実現に向けて、その能力を引き出すよう努めていきます。また、重点施策は①知育②徳育③体育に加え、④地域社会との連携も踏まえ設定しています。

令和4年度

学校目標

「学ぶ意義」を理解し、主体的に学び、協働する生徒
〔重点施策〕

- ① 学ぶ目的を明確にもち、自主的に課題解決に向かう学習の充実
- ② 個及び集団の向上を目指し、新たなものを創り出す取組の推進
- ③ 自分の役割を遂行することにより、自己有用感を得る活動の促進
- ④ 地域の一員であることを自覚し、社会に貢献する活動の実践

生徒会テーマ「**結束**」に込められた思い

昨年度3月の生徒総会で今年度の生徒会テーマが発表され、現在校内のいたるところに掲示されています。「**結束**」というテーマは、生徒総会で、生徒会の願いである「全校チャレンジ～団結力のある学校へ～」を受けて、全校生徒で話し合い、決定されたものです。このテーマ「**結束**」には強く結びつく（団結）だけでなく、同じ志をもつ者が一つになるという意味もあります。さらに、このテーマを基盤とし、全校生徒が力を合わせて（昨年度を越える）挑戦をしていきたいという願いを込め、～力を合わせ！限界突破！～というサブテーマが設けられました。今年は長者中の新たな歴史を創り出していくスタートラインの年ですので、このテーマやサブテーマのもと、昨年度を超えるためのチャレンジをして、自分と所属する集団の限界を突破して、大きく成長してほしいものです。

通信のタイトル「**文武両輪**」に込められた意味は？

昨年度は「**文武不岐**」〔ぶんぶふき〕「武のない文は文ではない、文のない武は武ではない、すなわち文と武は分かれぬ」というタイトルでした。学校生活において文（学習活動）と武（部活動）は切り離して考えることはできず、勉強をしっかりとすることが部活動での自分を高め、部活動に精進することが学習面に好影響を及ぼす、という意味でした。今年度は、新たに「**文武両輪**」〔ぶんぶりょうりん〕というタイトルと「～**学習も行事も部活動も**～」というサブタイトルにしました。

このタイトルには、子どもたちが文（学習活動）も武（行事と部活動）も精一杯に取り組むことで、それぞれ「文武両輪」の大輪の花を咲かせてほしいという、強い願いが込められています。昨年度のタイトルの思いも受け継ぎながら、長者中生一人ひとりが充実した中学校生活を送ることで、文武両面にわたってそれぞれの花を咲かせる（大きな成果を上げる）ことを期待して、このタイトルとしました。